



# かないやぐみだより 夏号

令和3年7月26日(月)

津田このみ学園

梅雨が明け、日差しが強くなり、夏の訪れを感じます。ある日園庭で、羽化する前のセミを発見！初めて見るセミの姿に興味津々で、かなりやぐみの網戸にくっつけてみました。すると夕方、羽化が始まり、「セミがでてきたー！！」と大興奮の子どもたち。じーっと殻から出てくるセミを観察し、幼虫から成虫になる貴重な瞬間を見ることができました。

その日から、「セミの声が聞こえる！」とセミの声に耳を傾け、園庭の木を探し回ったり、虫捕り網と虫かごを持って公園へ出かけたりし、セミ捕りやセミの抜け殻集めに夢中になっています。



## えいがかんだいせいこう！！！！

七夕会の日に七夕のお話の映画をしたい！と言って始まった映画館ごっこ。「映画館ってまっくらやで」「いつもポップコーンとかジュースとか買う！」「チケットがないとはいれへんで」と、映画を見に行ったときの経験を出し合い、映画館のイメージを共有していきました。

5歳児で話し合いをしているとき、Aさんの「映画始まる前のCMめっちゃ長いよな～」というつぶやきに他の子どもたちも共感し、CMも作るようになりました。紹介したいことがあるか尋ねると、「じょうろ作るの頑張ったから紹介したい！」「自分で作ったずかんにしようかな」「鉄棒上手やから見せたい！」と、すぐに紹介したいことを自信満々に教えてくれ、自分たちが頑張ったことをCMで紹介できることが嬉しくてたまらない様子でした。

ポップコーンやジュースは、3、4歳児が中心となって作りました。紙コップに絵を描いたり、新聞を丸めて紙コップに詰めたりし、完成したポップコーンとジュースを見て、「ポップコーン屋さん僕がしたい！」「はやく映画館したいな～」と、本番の日がくるのをわくわくしていました。



待ちに待った映画館の日。2歳児の子どもたちがお客さんでやってきて、目線を合わせて声をかけたり、椅子まで手を引いて案内したりする優しい姿がたくさん見られました。ポップコーンやジュースを販売したり、チケットをちぎったり、案内係をしたり、それぞれの役割になりきり映画館ごっこを楽しんでいました。5歳児が中心となって、マイク係、音楽係、スライド係、電気係に分かれて、子どもたちの力で映画を進め、お客さんたちが楽しそうに帰っていく姿を見て、大満足な子どもたちでした。

後日、また違うクラスの友達にも映画館に来てもらい、合計3回かなりやえいがを上映しました。映画をするたびに、よかったところや困ったことなどを振り返り、だんだんパワーアップしていったかなりやえいが。友達と協力して映画館ごっこをやり遂げ、達成感でいっぱいでした。

